

# 木くばり

No. 133 発行 '14 - 11月号

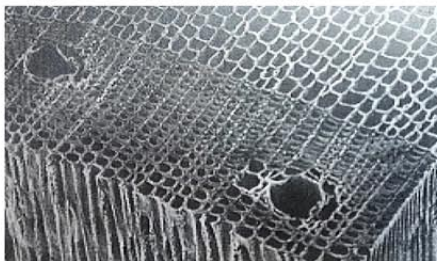
株式会社 ナガイ内  
住まい教室 金谷教室

## 木と私たちの生活 転んだ時も衝撃を和らげる②

### 木材はパイプ上の細胞の集まり

#### 物が落ちても優しく対応できる

木材はどうして衝撃吸収力が優れているのでしょうか。



左の写真をご覧ください。まるでダンボールかスポンジの断面のように見えますが、実は木材の断面の顕微鏡写真です。

木材はこのようにたくさんのパイプ状の細胞が集まって出来ています。

木材には、一つの材料の中に跳ね返る性質と吸収する性質の二つを兼ね備えた性質です。

例えば鐘などの金属を叩くと、叩いたエネルギーが長く金属内に蓄えられているので、音が長く響きます。ところが、木材は木魚を叩くと、叩いたエネルギーが、木材の中で吸収されるので、短い音しか響きません。

この性質によって、木材は振動や衝撃を吸収するので、床などのように、人が直接触れる箇所に使用する材として適していると言えます。

木材の中でも筆頭に挙げられるのが『桐』です。桐には腐りづらい上に虫が付きにくく肌触りも良いので、昔から箆箆や下駄等に使用される事が一般的でした。

近頃は、床材としても注目を浴びるようになりました。新潟の幼稚園では床をフローリングから桐に貼り替えたところ、園児がケガをしなくなったそうです。

また、熱伝導も低いので、冬は暖かく、梅雨時や夏はさっぱりしていて気持ちが良いので、冬でも素足で過ごせるほど快適です。「寝室」「書斎」...などにお奨めです。杉も同じような性質を持っています。やわらかいので傷は付きやすいですが、濡れタオルなどを敷いてアイロンで温めると写真の空洞部分の空気が膨張し、元通りになります。



## 対処療法では病気は治せない

医学の進歩は目覚ましいものがあります。特に戦後は薬学の発達によって抗生物質（ペニシリン・ストレプトマイシン等）が開発され、多くの感染症が克服されました。

それでは本当に体調の悪い人が少なくなり、病院は閑散としているのでしょうか...？しかしながら、現状の病院は患者さんがいっぱい、国の負担する医療費は増えるばかりです。又、最近では過剰な服用で細菌が抗生物質に耐性を持つ様に変化し、抗生物質が効かない耐性菌が増えて来ているそうです。

現代医学では『病気別に遺伝子異常を研究すれば治療法も分かる。とりえず対処療法でしのがざるを得ない』という考え方が多いとも言われています。

患者の体が消耗していて、自己治癒力よりも病気の勢いが強い時は薬を使い、体力の回復を待つ時などは対処療法が功を奏して良い結果をもたらすことも確かにあるでしょう。

又、患者さんにも問題があると思います。熱が出ると病院へ行き、『解熱剤』を、下痢をすると『下痢止め』を要求する。『薬を出さない・注射をしない医者には良くない』とレッテルを貼る。

体が熱を出す時は、体温を上げ細菌やウィルスを殺す時であり、下痢は体の中の毒を外に出す為だと、人の体のメカニズムをよく理解していない方が多いと見受けられます。

それと、病院にも経営上の問題があり、投薬や手術を薦めるケースもあると聞いています。

私たちの体には病気を治す『自己治癒力』が備わっているそうです。病気の大半は『自己治癒力』を高めることで自分で治せるそうです。

参考文献 安保 徹 「自分の免疫力で病気を治す本」  
富田辰雄 「居住環境と諸病の関係」

次号へ つづく

N 公会堂  
地盤改良工事が始まりました。



焼津市N様邸  
足場が取れました。



寝室天井  
榻合板でカーブ天井です。

足場が取れたらスッキリしました。  
後はモルタル上塗りです。

㈱ナガイ 島田市牛尾510-2 TEL (0547) 45-3501